

にして湧出し、水質亦可なり。燃料は主に穀稈若くは無烟炭を使用し、其の粉炭は之を滎陽の東南なる密縣及觀音堂の西方に位置せる、駕車嶺より採掘の物、并に其他各所より産するものを仰くが如く、固炭は山西省産を黄河に由りて舟運し、泥炭は鞏縣の西方石道の南方より出せり。

河川は有名なる黄河、本道に沿ふて北方を東流し、其の名の如く黄色の濁流濃きこと油に均しく、潼關附近に於ては其の幅約八百米突、下流は四千米突内外に達して現に京漢鐵道の鐵橋通過に費す時間は、實に九分時(約二哩)を要したり。水運は閿卿及び潼關のみの調査に依るに、河舟の大部は山西人の所有に係り、單に石炭を積みて下航するもの約一千隻、一隻約三萬斤を載すと。要するに黄河は有數の大河なるも、河中瀬淺くして舟楫の便少なく、現に一隻の汽船を溯航するもの無し。

其他本道を横斷する河川には、只洛河ありて、餘は記すに足らず。

宗教は其の大部回教にして、種族は蒙古人種、土耳其斯坦人種大部を占め、純漢族比較的少しと云ふ、服装は固より、言語、習慣まで全く漢族に感化せられ、容易に識別し難く、容貌は寧ろ我國人に酷似せり。